

讃える！

平成元年度市政功労者表彰

平成元年度の市政功労者は、自治、教育、産業、一般の4部門から選出された7人に決まりました。表彰式は11月15日、市民文化会館で行われ、市長が表彰状と記念品を贈って各氏の功績を讃えました。

自治功労

田中 昌氏
(青葉町・71歳)



昭和三十四年から現在まで、市議会、県議会議員として活躍。この間、県議会議長として活躍などを歴任。現在は県議会議長の職にあり、地方自治の発展に尽くされました。

教育功労

木村 貞藏氏
(馬喰町・92歳)



長年にわたり市文化財保護審

議会議長、市文化財保護協会会長などを務め、文化財の調査発掘と保護のための啓蒙普及に尽くされました。

月居 泰氏
(上町・67歳)



昭和二十一年に教壇に立つて以来、学校教育に熱意を傾注。昭和五十三年からは十年間市教育委員会教育長として教育行政の発展に尽くされました。

西村 常三郎氏
(長木川南・62歳)



青少年の暴力や非行の増大をみかね、自宅を開放して青少年を対象とした将棋教室を開設。

産業功労

浅利 敬三氏
(常盤木町・73歳)

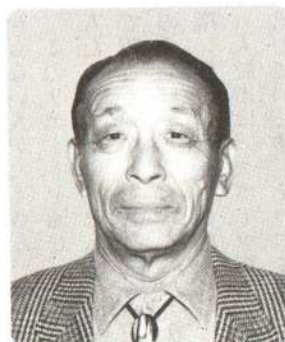


大館北鹿職業訓練協会、大館建設技能組合などの役員として、若手建設技能者の資質向上と育成に尽力し、市建設業界の発展向上に尽くされました。

将棋を通しての仲間づくりと情操形成に尽力し、青少年の健全育成に尽くされました。

一般功労

岸野 鐵治氏
(北神明町・71歳)



県内初の「大館市シルバー人材センター」の設立、運営に参画。高齢者の労働能力の活用などを積極的に推進し、高齢者の労働福祉向上に尽くされました。

蒔苗 進氏
(大町・60歳)



昭和二十一年から市消防団活動に携わり、市民の生命と財産を守るため、団員の指揮統率に精励し、災害の防止と防災思想の普及に尽くされました。

